

2019

20歳 誕生日

松ぼっくりと一人のムスメが遊んでいる。

「あっ！待ち合わせの時間を忘れていた。」

ムスメは急いで駅に向かう。安珍人形をプレゼントされた。

ムスメは人形に心を奪われる。

2039

鐘入

鐘のご供養のため、尼たちは法会の余興の練習をしている。

子供たちがお掃除をしながら遊ぶなか、

不穏な空気を感じ取り三つ目小僧が叫ぶ。

「これから来る男装の女を入れてはならぬ。」

男装した女がやって来る、余興に華を添えたいといい舞い始める。サバテアード(足さばき)が最高潮に達すると、女は鐘を引き落とし蛇の姿になった。



白昼夢

昔、安珍と言う名の若い僧がいた。彼は熊野詣でをするため紀州の辺地、真砂庄司の家を宿としていた。今年も庄司の家を訪ねると、その庄司の娘「清姫」が現れ、奥の一室に案内した。安珍はほっとして旅の装束を解く。笠を目深に被っていたため分からなかったが、安珍の凛々しくも美しい佇まいに心奪われ、清姫は一目惚れした。

「なんてお美しい、お人形のようなお顔立ち。」

夢から覚めるとムスメは自分を「キヨヒメ」と呼び、安珍人形にほとぼしるこの想いをお伝えしなければと、人形の寝床に忍び込む。はやるキヨヒメの気持ちを弄ぶかのように人形は口を開かない。

「安珍様、すぐにはお答えを出されないのでね。」

それでも人形は答えない。

「分かりました。あなたのお帰りをお待ちしております。」

キヨヒメは安珍の参拝の帰りを待つ身となる。



熊野詣でをすませたころになっても、安珍は戻ってこなかった。安珍は仏に仕える身、キヨヒメを避け違う道を選んだ。

「裏切られた。」

キヨヒメの顔色が変わった。真砂の里から安珍を追って走り続けるキヨヒメ。安珍が振り返ると可愛いキヨヒメが鬼のような形相となってゆくのが見える。安珍は走り続け日高川の川岸まで来た。向こう岸まで渡ってゆく。

キヨヒメは日高川へ飛び込んだ。

2020 突如、電車の急ブレーキ音が聞こえる。

928 川へ飛び込んだキヨヒメは蛇の姿に変わった。

2020 電車の音がする。車内アナウンス「道成寺駅」

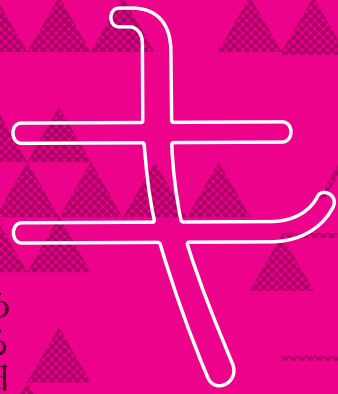


令和元年度(第74回)
文化庁芸術祭参加公演

南風野香スペイン舞踊団

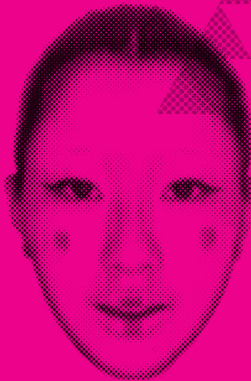
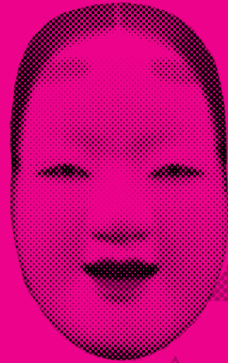
芸術監督

南風野香



ある日、私は老松から

「松ぼっくり」が転がり落ちるのを目の当たりにしたのだ。



南風野香舞台人生40周年記念公演
キヨヒメ2020

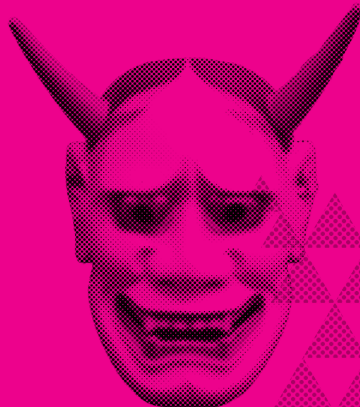
2019年10月19日(土)20(日)

▼19日15時30分開演・19時開演 ※開場は開演の
▼20日13時30分開演・17時開演 30分前です。

鍔仙会能楽堂

東京都港区南青山4-21-29

S席10000円 A席8000円(税込)



後援:



Cooperación Española

スペイン大使館



スペイン国営セルバンテス文化センター東京



一般社団法人現代舞踊協会
CDAJ-Contemporary Dance Association of Japan

スペイン舞踊振興

MARUWA 財団

講談社